

埼玉スタジアム2002



外観

サッカー専用スタジアムとして、アジア最大級、日本最大の63,700席を備える「埼玉スタジアム2002」。充実した規模と設備を誇る魅力的な環境であることから、国内試合のみならず数多くの国際大会が開催されている。



北サイドスタンド
2Fコンコース

スタジアムでは、トイレ改善を推進。2Fコンコースには44ヶ所のトイレがあり、2024(令和6)年に、全面改修工事が完了。北サイドスタンドには、女性トイレ4ヶ所、男性トイレ3ヶ所を配置している。



北サイドスタンド
2F女性トイレ 入口



トイレ入口には、内部のレイアウトがわかりやすく記載された案内図をピクトグラムと4ヶ国語で掲示。入口の混雑を避けるため、床面には、右側通行としている出入り方向を矢印で案内している。

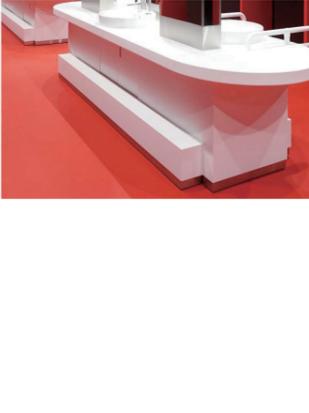


北サイドスタンド
2F女性トイレ 全体

浦和レッズのチームカラー赤・黒・白が印象的な空間。中央にアイランド型洗面カウンターを設置し、空間が見渡せる四角柱型(4面)の個別鏡を設置。各洗面器の隣はスタイリングスペースとして使用できる。



北サイドスタンド
2F女性トイレ
洗面コーナー



衛生面に配慮して、ベッセル式の洗面器に自動水栓とオートソープディスペンサーを選定。また、足元には床から一段上げた高さに荷物置き棚を設置している。



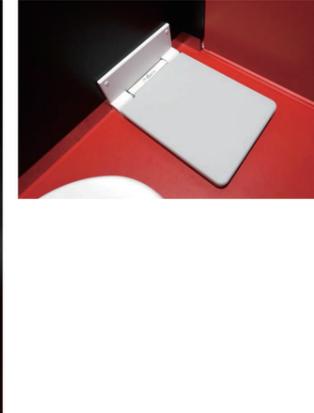
北サイドスタンド
2F女性トイレ
大便器ブース



大便器は、床の清掃性に優れた壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式を選定。扉の上部に矢印のフラッグ型サインを設置し、開閉と連動することで空き状況が確認できる。一部には、停電時洗浄ボタンを採用している。



北サイドスタンド
2F女性トイレ
大便器ブース



入口に近い一部の大便器ブースには、L型手すりを設置。また、すべてのブースにフィッティングボードを用意することで、応援用ユニホームに着替えるサポーターなど、多くの利用者の着替え場所を確保している。



北サイドスタンド
2F女性トイレ
大便器ブース



ベビーチェアとウォシュレットも、入口に近い一部の大便器ブースに設置。ウォシュレットのリモコンは、ボタンを押すたびに発電し、乾電池の交換や電源工事が不要なエコリモコンを選定している。



北サイドスタンド
2F女性トイレ
広めのブース



小さなお子様連れに配慮した広めのブースを入口付近に1ヶ所設置。幼児用小便器やベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを設置している。



北サイドスタンド
2F女性トイレ 出入口



利用者の動線に配慮して、退出時に利用できるよう出入口の横にクリーンドライ(ハンドドライヤー)と全身鏡を設置している。



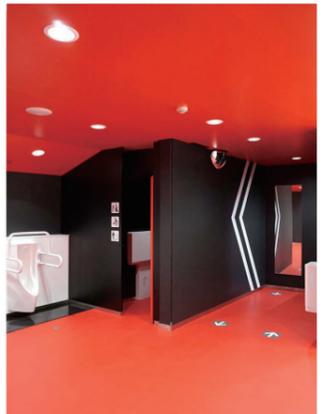
北サイドスタンド
2F男性トイレ 入口



女性トイレと同様に、トイレ入口には大きくわかりやすいピクトグラムと案内図を掲示。さらに、入口の床に矢印で通行ルートを示すことで、安全性とスムーズな動線を確保し、混雑緩和を図っている。



北サイドスタンド
2F男性トイレ 全体



入口から続く通行ルートの矢印や、壁面の大きな矢印がトイレ内への方角をわかりやすく案内。また、利用者同士の衝突を避けるため、曲がり角に広角ミラーを設置し、安全に配慮をしている。

埼玉スタジアム2002



北サイドスタンド
2F男性トイレ
洗面コーナー

混雑時の快適性に考慮して、空きスペースが見つけやすく、使いやすい間口を広くした洗面コーナー。さらに、LED照明付鏡により、上質感を感じさせる、洗練されたトイレ空間を演出している。



北サイドスタンド
2F男性トイレ
洗面コーナー



洗面コーナーは、顔写りのよいLED照明付鏡と足元の荷物置き棚が快適性を高めている。洗面器は、水はねを抑えるため、深さのある陶器ボウルを選定している。



北サイドスタンド
デジタルサイネージ



一部のトイレには、ブース扉の鍵と連動したデジタルサイネージを採用し、満空状況を表示している。



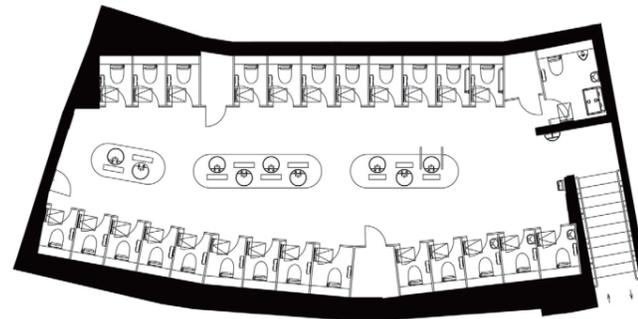
北サイドスタンド
2F男性トイレ
小便器コーナー

混雑時でも待機しやすく、見渡しのよいレイアウト。安全に通行できるよう、十分な広さの通路と小便器数を確保している。



北サイドスタンド
2F男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。



北サイドスタンド
2F女性トイレ図面

順番待ちの列の先頭から、トイレ全体を見渡しやすいレイアウトに変更し、スムーズな利用を促進するとともに、利用者の動線に配慮している。



北サイドスタンド
2F男性トイレ
大便器ブース

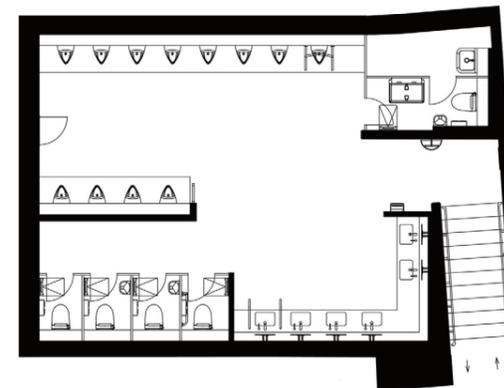
大便器は女性トイレと同仕様とし、一部にベビーチェアや手すりを設置。また、防災活動拠点となる場面を想定し、一部の大便器には、停電時に水を流すことができる停電時洗浄ボタンを採用している。



北サイドスタンド
2F男性トイレ
広めのブース



女性トイレと同様に、広めのブースを1ヶ所設置。お子様連れ配慮としてベビーチェアやベビーシート、フィッティングボードを完備している。



北サイドスタンド
2F男性トイレ図面

出入口付近の中央部は、多くの利用者の行き交いや順番待ちに配慮し、ゆったりとした空間を確保している。

水まわりの特長

改修の経緯

埼玉県さいたま市にある「埼玉スタジアム2002」は、63,700席を備えるアジア最大級、国内最大のサッカー専用スタジアム。2002(平成14)年に開催された日韓共催ワールドカップサッカー大会の会場地となることも考慮し建設され、「青少年に夢と希望を与える」「埼玉をサッカーのメッカとする」「防災支援機能を備える」の3つの基本理念を掲げている。また、屋根に降った雨をグラウンド下の雨水貯水槽に貯め、芝生の水やりやトイレの洗浄水として活用、さらに太陽光発電の採用、紙コップをトイレトイレットペーパーに再生するなど、環境に配慮したエコスタジアムとなっている。2020シーズンより、「埼玉スタ女子トイレ向上プロジェクト」をスタート。このたび、2Fコンコースのトイレ全面改修工事が完了した。

トイレの特長

2020年度にスタジアムすべてのトイレを洋式化。さらなるホスピタリティ改善を目指し、埼玉県・埼玉スタジアム・浦和レッズの3者が一体となり、施設の魅力の維持向上を推進。来場者からのアンケートを元に協議を重ね、2021年度を皮切りに、2Fコンコースのトイレ44ヶ所を順次改修した。トイレは、ハーフタイムなどの休憩時間に一斉に利用されるため、一部のトイレは混雑時でも空間全体が見渡せるようアイランド型洗面コーナーに変更。さらに、スムーズな動線や安全確保に配慮し、内部のレイアウトや出入りの進行方向を明示した案内図を、入口に掲示。スタイリングスペースを設けることで、混雑緩和に繋げている。また、防災活動拠点となる場合を想定し、一部の大便器に停電時洗浄ボタンを選定している。

建築概要

名称	埼玉スタジアム2002
所在地	埼玉県さいたま市緑区美園2-1
施主	埼玉県
設計	株式会社タック
施工	株式会社ユーディケー
竣工年月	(改修)2024年2月
建築面積	52,633.49㎡
延床面積	60,867.29㎡(スタジアム) 34,789.70㎡(客席)
構造・階数	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上5階、一部6階

おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC2C*1B特
- ウォシュレットアップリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF584IP特
- ウォームレットS:TCF116
- 棚付二連紙巻器:YH702
- 音姫(トイレ用擬音装置):YES412R
- 自動洗浄小便器:UFS900R
- 洗面器:L505、L700C特
- 台付自動水栓:TLE26SS1A、TLE28SS1A
- 自動水石けん供給栓:TLK07S01JA、TLK07S02JA、TLK07S03JA
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- 幼児用小便器:U310GY
- ベビーシート:YKA25S
- ベビーチェア:YKA15S
- フィッティングボード:YKA41R
- LED照明付鏡:EL80019
- 全身鏡:YMK50K
- パブリック用手すり:T112CL10、T112CU22